



令和 5 年 9 月 2 2 日
海 上 保 安 庁

JICA 課題別研修「救難・環境防災コース」を開講 ～救難・環境防災に関する国際貢献～

海上保安庁は、国際協力の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）の枠組みの下、海外の海上保安機関の職員を我が国に招聘し、参加各国の海上における業務執行体制の強化を目的として、JICA 課題別研修「救難・環境防災コース」を実施します。

1. 研修概要

本訪日研修は昭和 57 年から実施されており、捜索救助手法、油防除にかかる初動対応、現場指揮など救難・環境防災に関する能力向上支援を通じ、各国海上保安業務（救難・環境防災）の発展に寄与することを目的としており、今回で 41 回目の開催となります。

2. 研修日程・場所

日程：令和 5 年 9 月 25 日（月）～ 11 月 3 日（金）

場所：海上保安庁本庁青海庁舎、第三管区海上保安本部、羽田航空基地、羽田特殊救難基地、一般財団法人海上災害防止センター（研修委託先）

3. 参加国及び研修生（12 か国 17 名）

ジブチ 1 名、インドネシア 4 名、ジャマイカ 1 名、マレーシア 2 名、モルディブ 1 名、マーシャル 1 名、モーリシャス 1 名、モンゴル 1 名、モザンビーク 1 名、フィリピン 2 名、サモア 1 名、ベトナム 1 名

4. 主な研修内容

- ・ 捜索救助、海上防災及び環境保全等に関する講義
- ・ 羽田航空基地・羽田特殊救難基地の視察及び救難器材取扱実習
- ・ 海上防災に関する訓練

5. 取材対象

取材を希望される方は、研修実施日の 3 日前まで、海上保安庁国際戦略官室（[TEL:03-3520-0251](tel:03-3520-0251)）までご連絡をお願いいたします。取材時は場所、環境等の都合から、人数等の取材制限をする可能性もありますので、ご了承ください。

月日	時間	内容	場所
10月16日(月)	13:00 ～ 17:00	オイルフェンス取扱実習	海上災害防止センター (横須賀市)
10月24日(火)	13:00 ～ 16:30	研修員による救難訓練体験救難器材取扱実習	横浜海上防災基地

※ 若干の時間変更の可能性あり

※ 天候により研修内容に一部変更が生じる可能性あり。

○ 過去の研修状況



画像1：油防除（海岸清掃）実習



画像2：救難訓練（体験）

※ JICA 課題別研修

研修員受入事業は、開発途上国の様々な課題解決を後押しする我が国の技術協力事業の一つであり、国づくりの中核となる人材を育成することを目的としています。

また、研修員受入事業は、開発途上国における課題解決と共に、研修員の日本理解の促進、及び研修に携わる日本側関係者との交流を通じた国内各地域の国際化への貢献も念頭に実施しています。

この研修は、日本に研修員を招いて実施する研修であり、共通の課題に対し複数の国の参加を得て実施する研修です。

課題別研修は、日本側で予め開発途上国側の課題に対応する研修計画を策定したうえで、開発途上国側に実施を提案するものです。（引用：JICA ホームページ）

海上保安庁では、海上犯罪取締り、救難・環境防災、海図作成の研修を行っています。